

厚生・産業常任委員会資料  
平成24年(2012年)5月16日  
病院事業庁経営管理課

「平成24年度病院事業庁の主要施策について」

# 病 院 事 業 の 概 要

病 院 事 業 庁

# 平成24年度重点的取組事項

## 病院事業庁

### 滋賀県基本構想「未来戦略プロジェクト」の推進

- 「地域を支える医療福祉・在宅看取りプロジェクト」において、4事業を実施する。  
(地域を支えつなぐ医療専門職育成事業、健康情報提供事業、遠隔病理診断体制整備事業、ICTリハビリテーション推進事業)

### 経営状況の改善

- 各病院が収益の確保と費用の削減に全力を挙げて取り組み、収支改善を図ります。

### 第三次県立病院中期計画の着実な執行

- 計画の初年度として、各病院が目標を確実に達成できるようバランス・スコアカードを基軸とした運営を行う。

### 新たな病院機能構築のための連携・支援

- 将来の医療福祉を見据えた病院機能を構築するため、各県立病院で重点プロジェクトを推進する。

### 医療従事者の確保および人材育成の推進

- 医師や看護師等の専門職員の確保対策の充実を図る。
- 人材の有効活用や人事交流の推進を図り、看護師教育システム等に基づく人材育成を行う。

## 成人病センター

### 病院の機能再構築

- 改築工事の実施設計などに着手

### がん、生活習慣病治療の充実

- 都道府県がん診療連携拠点病院の充実、連携強化
- 三大疾患および糖尿病の拠点施設としての機能向上

### 病診在宅連携の推進

- ICTリハビリテーションシステムの構築
- 遠隔病理診断体制の整備
- 医療専門職の育成

- 健康情報の提供、疾病予防に関する情報収集など

## 小児保健医療センター

### 診療体制の充実・強化と地域連携

- 高度専門医療(障害児医療、小児慢性・難治性疾患)の提供

- 在宅療養の支援体制の構築

### 小児保健医療サービスの拠点機能

- 療育発達相談事業への専門職員の派遣

- 小児保健サービス(母子保健従事者への研修、生活集団教室や遺伝相談など)の提供

### 将来構想の検討

- 県民の医療ニーズに対応するため、将来を見据えた病院機能のあり方を検討

## 精神医療センター

### 政策医療の推進

- 思春期精神疾患患者等の受入、アルコール等薬物依存症の対応

- 自殺予防対策のための啓発

### 長期入院患者の退院促進

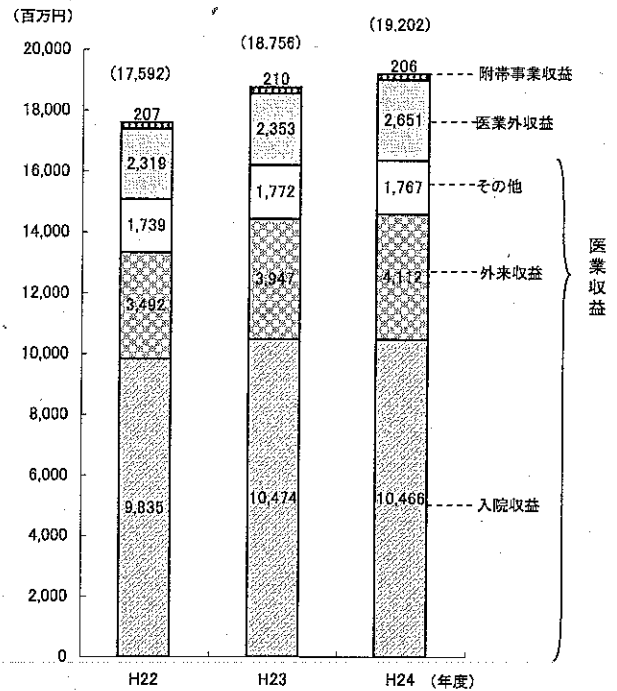
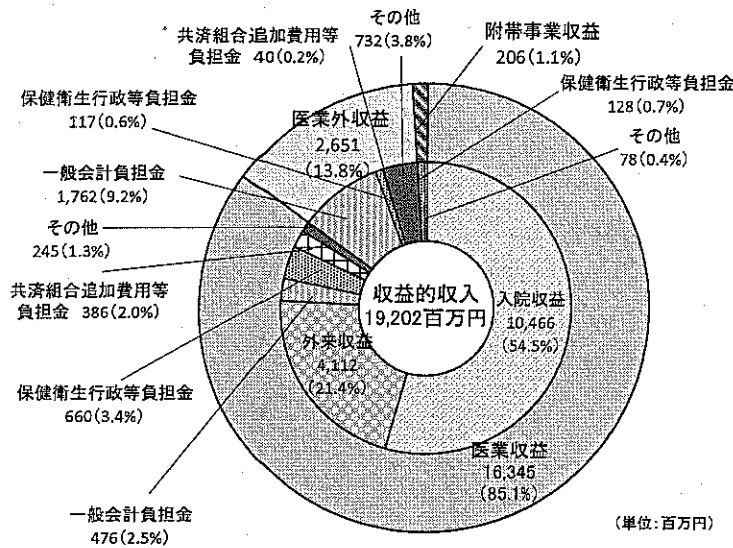
- 地域生活支援部の業務、役割分担の見直し

### 医療観察病棟整備・開設準備

- 病棟の整備
- 職員研修の実施
- 国のガイドラインに沿った各種マニュアルの作成

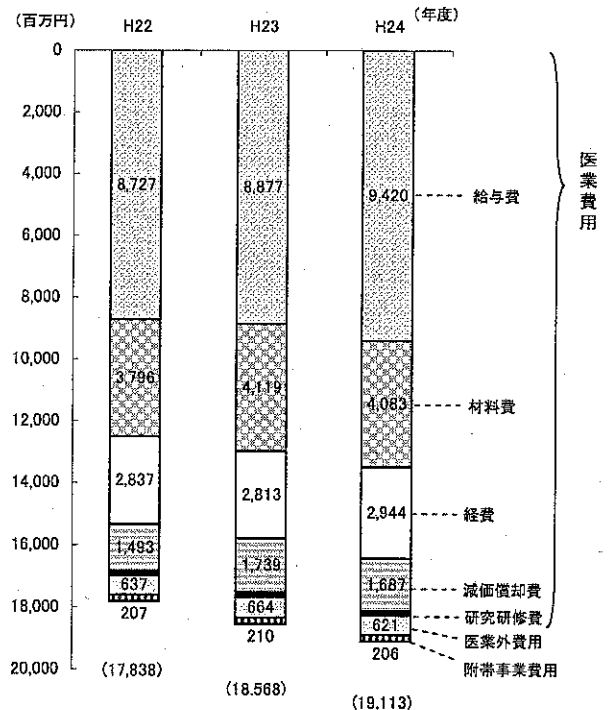
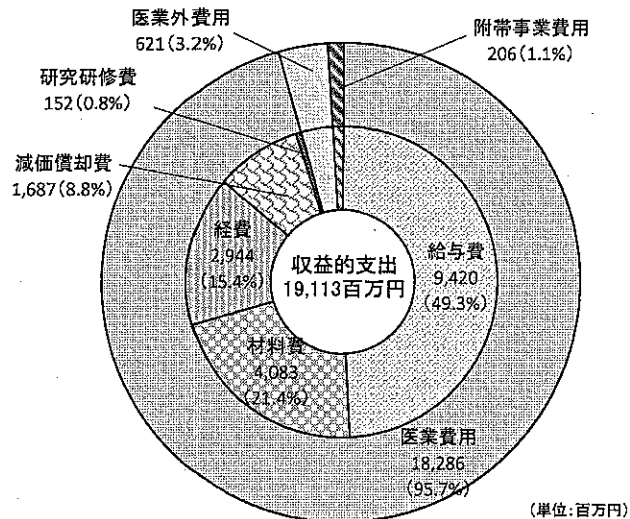
# 平成24年度 病院事業会計予算の概要

## 収益的収入予算の構成および推移



- 一般会計からの繰入金の区分
- ・一般会計負担金・・・高度専門特殊医療の実施およびそれを支える経営基盤強化に係るもの
  - ・保健衛生行政等負担金・・・保健衛生行政の実施等に係るもの
  - ・共済組合追加費用等負担金・・・知事が負担すべき人件費に係るもの

## 収益的支出予算の構成および推移



- 事業収益は、19,202百万円 (対前年度+446百万円)
  - ・入院収益は、10,466百万円 (対前年度△8百万円)
  - ・外来収益は、4,112百万円 (対前年度+165百万円)
  - ・一般会計からの繰入金は、3,569百万円 (対前年度±0)
- 事業費用は、19,113百万円 (対前年度+545百万円)
- その結果、収支差は、89百万円 (対前年度△99百万円)

## 収益的収支予算額

項目	平成23年度当初予算	平成24年度当初予算	増減
収益合計	18,756,000	19,202,000	446,000
医業収益	16,193,455	16,345,426	151,971
入院収益	10,474,385	10,465,691	△ 8,694
外来収益	3,946,891	4,111,952	165,061
一般会計負担金	475,933	475,974	41
保健衛生行政等負担金	668,070	660,434	△ 7,636
共済組合追加費用等負担金	386,383	386,072	△ 311
その他	241,793	245,303	3,510
医業外収益	2,353,145	2,650,674	297,529
一般会計負担金	1,783,367	1,762,081	△ 21,286
保健衛生行政等負担金	137,666	117,230	△ 20,436
共済組合追加費用等負担金	31,764	40,021	8,257
その他	400,348	731,342	330,994
附帯事業収益	209,400	205,900	△ 3,500
保健衛生行政等負担金	85,962	127,725	41,763
その他	123,438	78,175	△ 45,263
費用合計	18,568,000	19,113,000	545,000
医業費用	17,694,311	18,285,596	591,285
給与費	8,877,411	9,419,760	542,349
材料費	4,118,662	4,083,372	△ 35,290
経費	2,813,353	2,944,253	130,900
減価償却費	1,739,209	1,686,530	△ 52,679
研究研修費	145,676	151,681	6,005
医業外費用	664,289	621,504	△ 42,785
附帯事業費用	209,400	205,900	△ 3,500
収支差	188,000	89,000	△ 99,000

## 成人病センター予算の概要

### 1 重点的取組事項

#### (1) 病院の機能再構築

高齢社会の到来に伴う疾病構造の変化、多様化する医療ニーズに見合う高度専門医療の実践等に対応するため、改築工事の実施設計に着手し、将来を見据えた病院の機能再構築を図る。

#### (2) がん、生活習慣病治療の充実

ア 都道府県がん診療連携拠点病院として診療体制の充実・連携体制の強化を図るとともに、滋賀県におけるがん診療連携を推進し、県全体のがん医療の向上を図る。

イ がん、心臓血管疾患、脳神経疾患の三大疾患および糖尿病に関する拠点施設として、一層の機能の向上に努める。

#### (3) 病病診在宅連携の推進

県民が等しく質の高い医療を受けることができるよう病・病・診・在宅の連携の構築に取り組むとともに、がんなどの術前・術後の患者の早期離床・早期回復を図るためICTを利用したリハビリテーションシステムの構築を図る。

あわせて、医療専門職の人材育成に努めるとともに、全県域を対象とする病理・画像遠隔診断体制の整備、疾病予防に関する情報収集、普及開発などを進める。

### 2 業務量

項目		平成23年度当初予算		平成24年度当初予算					
				合計		病院		リハセン	
患者1日当たり人数・延べ人数	入院	420.0人/日	153,720人	434.0人/日	158,410人	398.0人/日	145,270人	36.0人/日	13,140人
	外来	890.0人/日	217,160人	892.0人/日	218,540人	871.0人/日	213,395人	21.0人/日	5,145人

### 3 収益的収支予算額

項目		平成23年度当初予算		平成24年度当初予算		
				合計	病院	リハセン
収益合計		14,449,000	14,711,800	14,011,036	700,764	
医業収益		13,045,672	13,230,609	12,647,075	583,534	
	入院収益	8,626,634	8,660,401	8,217,281	443,120	
	外来収益	3,188,217	3,328,138	3,202,600	125,538	
	一般会計負担金	432,340	431,914	431,914		
	保健衛生行政等負担金	300,070	307,446	305,403	2,043	
	共済組合追加費用等負担金	287,937	290,063	290,063		
	その他	210,474	212,647	199,814	12,833	
医業外収益		1,403,328	1,481,191	1,363,961	117,230	
	一般会計負担金	968,339	935,525	935,525		
	保健衛生行政等負担金	137,666	117,230		117,230	
	共済組合追加費用等負担金	25,418	34,199	34,199		
	その他	271,905	394,237	394,237		
費用合計		14,340,800	14,653,900	13,946,905	706,995	
医業費用		13,787,050	14,129,899	13,424,679	705,220	
	給与費	6,428,762	6,780,764	6,266,888	513,876	
	材料費	3,608,737	3,556,144	3,499,220	56,924	
	経費	2,118,338	2,218,022	2,119,534	98,488	
	減価償却費	1,452,356	1,405,750	1,379,731	26,019	
	研究研修費	113,536	113,610	107,202	6,408	
	本部費配賦額	65,321	55,609	52,104	3,505	
医業外費用		553,750	524,001	522,226	1,775	
収支差		108,200	57,900	64,131	△ 6,231	

## 小児保健医療センター予算の概要

### 1 重点的取組事項

(1) 診療体制の充実・強化と地域連携の強化

一般病院では対応が困難な障害児医療、小児慢性・難治性疾患を中心に、地域医療機関との連携を図りながら、高度専門的かつ包括医療を提供する。

また、医療依存度の高い患者への小児在宅看護や在宅医療の重要性が高まる中、保健所や訪問看護ステーションと連携し、安心して在宅療養が継続できる支援体制を構築する。

(2) 小児保健サービスの拠点機能の充実

乳幼児健診事業などを通じて心身に障害を有する子どもを早期に発見し、治療や訓練などの適切な処置が受けられるよう、療育発達相談事業への専門職員の派遣、母子保健従事者への研修・教育、生活集団教室や遺伝相談など、県内の母子保健の中核的支援拠点として小児保健サービスを提供する。

(3) 県民の医療ニーズに対応した将来構想の検討

発達障害への対応等専門的な医療の必要性が増すとともに、多様化する県民ニーズに適切に対応するため、小児保健医療センターに求められる役割を再整理し、将来を見据えた病院機能のあり方を検討する。

### 2 業務量

項目		平成23年度当初予算		平成24年度当初予算	
		病院		病院	
患者1日当たり人数・延べ人数	入院	75.0人/日	27,450人	75.0人/日	27,375人
	外来	183.0人/日	44,652人	183.0人/日	44,835人

### 3 収益的収支予算額

項目	平成23年度当初予算	平成24年度当初予算			
		合計	病院	保健指導部	療育部
収益合計	2,693,700	2,701,600	2,381,249	114,451	205,900
<b>医業収益</b>	2,138,195	2,144,367	2,029,916	114,451	
入院収益	1,358,775	1,323,490	1,323,490		
外来収益	535,824	581,262	581,262		
一般会計負担金	4,283	4,421	4,421		
保健衛生行政等負担金	170,761	163,762	49,851	113,911	
共済組合追加費用等負担金	57,851	57,737	57,737		
その他	10,701	13,695	13,155	540	
<b>医業外収益</b>	346,105	351,333	351,333		
一般会計負担金	327,088	334,511	334,511		
保健衛生行政等負担金					
共済組合追加費用等負担金	3,688	3,291	3,291		
その他	15,329	13,531	13,531		
<b>附帯事業収益</b>	209,400	205,900			205,900
保健衛生行政等負担金	85,962	127,725			127,725
その他	123,438	78,175			78,175
費用合計	2,623,800	2,676,300	2,355,949	114,451	205,900
<b>医業費用</b>	2,365,114	2,427,975	2,313,524	114,451	
給与費	1,323,421	1,353,629	1,275,853	77,776	
材料費	384,423	416,650	416,650		
経費	445,236	452,830	417,698	35,132	
減価償却費	179,489	172,325	172,325		
研究研修費	16,274	16,856	16,370	486	
本部費配賦額	16,271	15,685	14,628	1,057	
<b>医業外費用</b>	49,286	42,425	42,425		
<b>附帯事業費用</b>	209,400	205,900			205,900
収支差	69,900	25,300	25,300	0	0

## 精神医療センター予算の概要

### 1 重点的取組事項

#### (1) 県の政策医療の推進

精神医療の拠点病院として、民間では受入困難な患者、発達障害や摂食障害など思春期精神疾患等の受入はもとより、アルコール等薬物依存症の対応、老年期精神疾患の早期発見、治療さらには精神保健福祉センターとも連携し、自殺予防対策のための啓発などにも取り組む。

#### (2) 長期入院患者の退院促進の強化

長期入院患者の退院促進を図るため、医療機関や保健所、市町村、福祉事務所、入所施設等の窓口を整備する必要があることから、地域生活支援部の業務、役割分担の見直しを行う。

#### (3) 医療観察法の病棟整備および開設準備

25年度の開棟に向け引き続き地元を中心に制度や施設への理解を深めてもらう取り組みを行い、医療観察法指定入院医療機関の病棟整備を進めるほか、病棟の開設に向けて、各種マニュアルの作成や職員研修を行うなどの準備を進める。

### 2 業務量

項目		平成23年度当初予算		平成24年度当初予算					
				合計		病院		デイケア	
患者1日当たり人数・延べ人数	入院	80.0人/日	29,280人	80.0人/日	29,200人	80.0人/日	29,200人		
	外来	118.7人/日	28,952人	112.0人/日	26,360人	92.0人/日	22,540人	20.0人/日	3,820人

### 3 収益的収支予算額

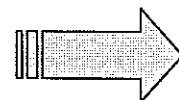
項目		平成23年度当初予算		平成24年度当初予算				
				合計		病院		デイケア
収益合計		1,538,000		1,715,900		1,618,082		97,818
医業収益		936,538		899,947		802,129		97,818
入院収益		488,976		481,800		481,800		
外来収益		222,850		202,552		175,812		26,740
一般会計負担金		39,310		39,639		39,639		
保健衛生行政等負担金		124,189		118,723		47,645		71,078
共済組合追加費用等負担金		40,595		38,272		38,272		
その他		20,618		18,961		18,961		
医業外収益		601,462		815,953		815,953		
一般会計負担金		487,940		492,045		492,045		
保健衛生行政等負担金								
共済組合追加費用等負担金		2,658		2,531		2,531		
その他		110,864		321,377		321,377		
費用合計		1,528,100		1,710,100		1,612,282		97,818
医業費用		1,466,847		1,655,022		1,557,204		97,818
給与費		967,643		1,140,863		1,068,103		72,760
材料費		125,502		110,578		109,117		1,461
経費		235,840		259,363		236,975		22,388
減価償却費		107,364		108,455		108,455		
研究研修費		13,742		18,963		18,587		376
本部費配賦額		16,756		16,800		15,967		833
医業外費用		61,253		55,078		55,078		
収支差		9,900		5,800		5,800		0

# 成人病センター機能再構築(センター改築工事)について

厚生・産業常任委員会  
平成24年(2012年)5月16日  
病院事業庁・成人病センター

## 機能再構築(センター改築工事)の目的・必要性

- 将来の医療環境に対応した成人病センターの病院機能の強化  
→ 高度専門医療の提供および全県を対象とした医療福祉の提供
- 改築工事中断に伴う医療機能および施設管理上の支障の解消



成人病センター改築工事(第二期工事)の開始

## これまでの進捗状況と今年度(平成24年度)の取組

### <平成23年度>

- ① 増築工事基本設計業務(=新々棟建設・西館改修)  
→ 基本設計書を作成(建築・電気設備・給排水・空調設備に係る各種計画、基本設計図等)
- ② 増築工事に係る先行工事実施設計業務  
→ 旧エネセン解体・インフラ設備迂回工事に係る実施設計書を作成
- ③ 周辺機関等との協議・調整  
→ 小児保健医療センター療育部、総合保健専門学校、県関係機関、守山市、警察、消防、地元自治会等との協議・調整を実施(今後も継続)。

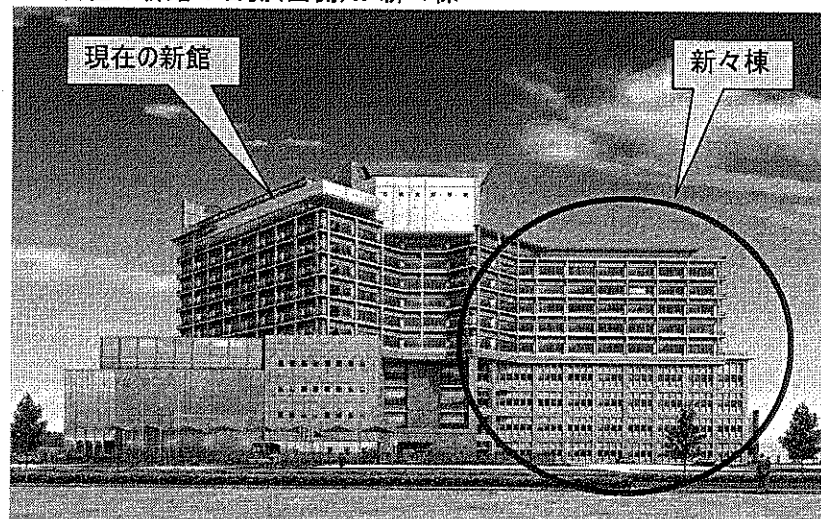
### <平成24年度>

- ① 実施設計業務  
(新々棟増築工事・西館改修工事・東館等解体工事に係る詳細設計)
  - ② 小児保健医療センター療育部駐車場移設工事
  - ③ インフラ設備迂回工事
  - ④ 旧エネルギーセンター解体工事
  - ⑤ 総合保健専門学校学生寄宿舎棟解体工事および舗装工事
  - ⑥ 駐車場ゲート移設工事
  - ⑦ 埋蔵文化財発掘調査
- 【平成24年度予算額】  
569,930千円(H24:459,876千円) (債務負担110,054千円)

## 機能再構築(センター改築工事)後の階層構成

新館 284床		【新々棟(増築)】	
霊安室 12F		● 延床面積: 約20,400㎡ 地上9階、地下1階	
レストラン等 11F		● 病床数: 256床(既存病床: 284床) 計540床	
病棟(緩和ケア) 20床 10F		【現状】西館: 257床 新館: 284床 計541床(うち稼働494床)	
病棟 52床 9F		増築	
病棟 52床 8F		新々棟 256床	
病棟 52床 7F		改修	
病棟 52床 6F		西館	
病棟 52床 5F		倉庫(予定) 8F	
機械室等 4F		倉庫(予定) 7F	
手術室、ICU、病理部等 24床 3F		人材育成センター 6F	
外来、放射線、尿検査等 2F		病院事業庁 リハビリテーションセンター 5F	
外来、CT、総合受付、会計、医事課等 1F		管理部門 4F	
薬剤部、栄養指導部、中央滅菌室等 B1F		渡り廊下 医局等 3F	
		渡り廊下 心臓リハ 2F	
		渡り廊下 リハビリ訓練室 1F	
		倉庫・文書庫等 B1F	

【完成予想図】 ※北側からの眺め  
現在の新館の右側(西側)が新々棟





# 機能再構築(センター改築工事)後の成人病センターの姿

## 設計コンセプト

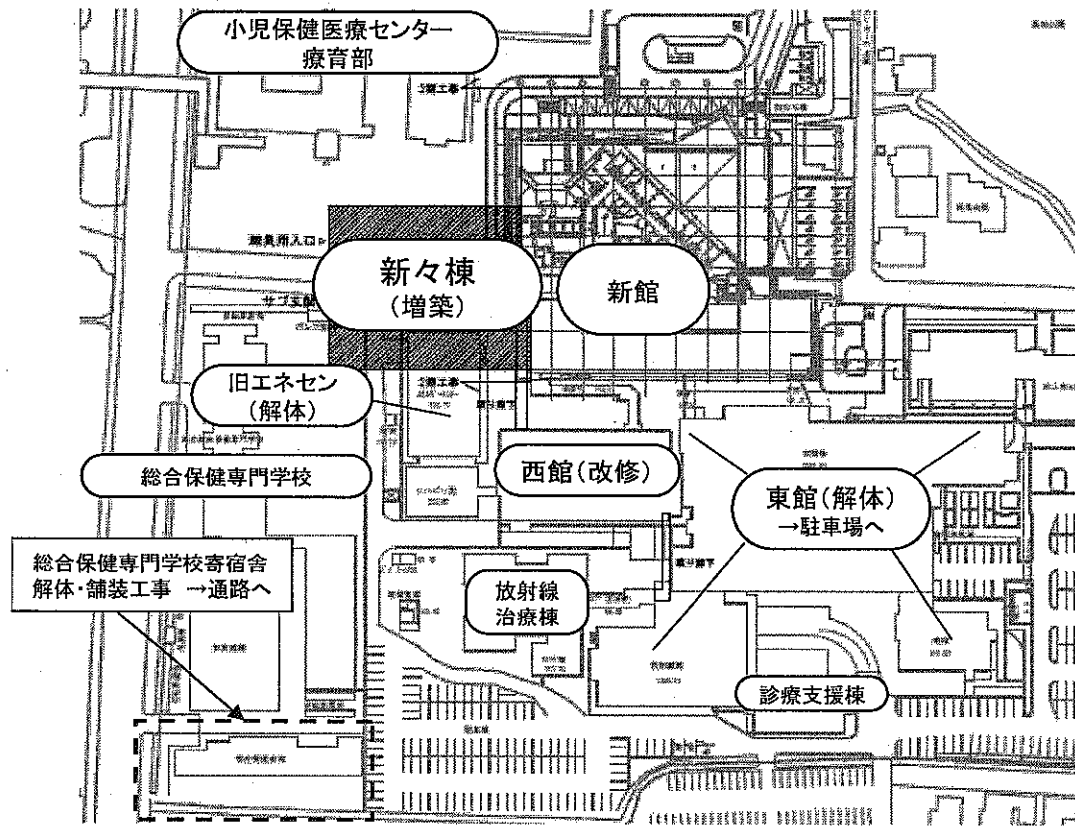
- 高度専門医療の提供と全県型医療の展開に向けた病院機能の強化
- 診断・診療体制の改善
- アメニティ機能と療養環境の充実
- 災害発生時の対応機能の充実

## 新病棟整備後の成人病センターの機能

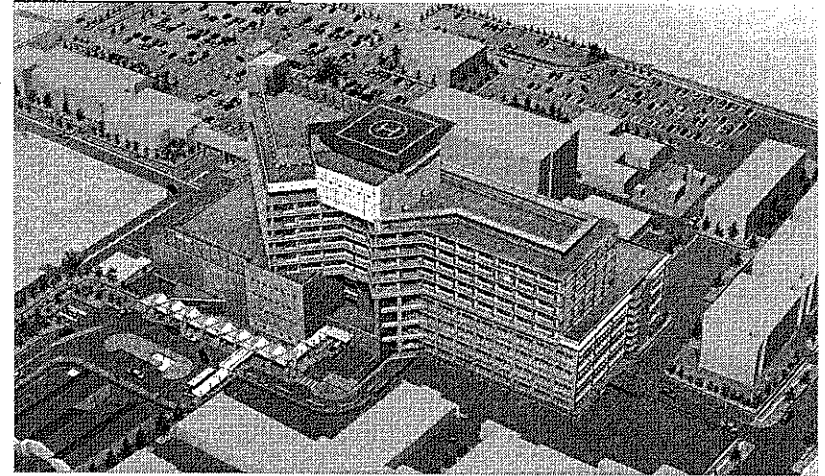
機能強化のポイント	概要
診断・診療体制の改善	既存新館と新病棟に医療機能を一体的に集約して配置することで、動線を短縮するとともにわかりやすい施設配置とし、患者さんや医療従事者の院内の移動を円滑にする。
がん診療連携拠点連携病院の機能強化	都道府県がん診療連携拠点病院として、高度医療の提供に向けた機能強化を行うとともに、相談支援機能や情報発信機能の充実などがん相談支援センターの拡充を図る。
病床数(稼働)の増加	将来の患者さんの増加に対応するため稼働病床数を増加させる(稼働病床数494床 → 540床)。
無菌病棟の設置	血液腫瘍の治療で行う他家造血幹細胞移植(骨髄移植、臍帯血移植等)が可能な無菌病棟(新々棟8階)を整備し、難治性の白血病・再生不良性貧血・リンパ腫等に対する治療の充実を図る。
外来化学療法センターの拡充	患者さんが在宅で生活しながら薬物療法を受けることができる外来化学療法のニーズの高まりに対応するため「外来化学療法センター」を整備する(9床(現在)→25床(新々棟))。
血管内治療の実践	循環器内科等において、新たな予防的治療(血管内治療)を行う体制を整備する。
地域医療連携センターの整備	地域医療サービス室の拡充により、地域連携機能の充実強化を図るとともに、病病診在宅連携体制を構築する。
疾病・介護予防センターの整備	病院が有する研究機能、検診機能、臨床機能、情報発信力を発揮し、がん・血管病などの疾病予防、認知症などの予防に実効性のある方策を開発し、実践する。
臨床試験・治験センターの整備	安全・安心な臨床試験・治験を実施し、ドラッグラグの解消や新薬開発への貢献、最先端の医療(薬物療法)を提供に取り組む。
検診センターの整備	PET検診、エビデンスのあるがん検診、脳ドックなどを行い、がん・血管病・生活習慣病の早期発見・予防に努める。
遠隔遠隔診断体制の整備	バーチャルスライドを用いた全県型の遠隔病理診断ネットワークを整備する。
医療情報ネットワークへの参画	滋賀県全域の医療情報を束ねる医療情報ネットワークに参画し、ITを活用した全県型医療体制の構築に向けた取組を行う。
遠隔集中リハビリテーションの推進	患者さんの早期離床、早期退院を可能にするため、ICT等を活用した術前・術後早期からのリハビリテーションを推進します。
医療専門職の育成	地域医療福祉を支える臨床能力の高い医療専門職を育成するため、人材育成センターを整備する。
服薬外来、看護外来、栄養外来の設置	医療専門職の専門化が進む中、それぞれの医療専門職が自立した役割を担った外来を実施する体制を整備する。
療養環境の充実	患者さんの入院生活におけるプライバシーに配慮し、より快適に過ごしていただくため、新病棟では現在の新館よりも一般病棟の個室割合を増加させる。(新館の一般病棟の個室率23% → 新々棟の一般病棟の個室率30%)
アメニティの充実	診察の待ち時間を快適かつ有意義に過ごしていただけるよう、新病棟1階には図書コーナーや、健康・医療に関する情報提供スペースなどを設ける他、待合スペースやカフェ、コンビニ、書店などを設けるなど病院のアメニティを充実させる。
災害医療対応	地震発生時に患者さんや医療機器、設備などに被害が及ばないよう、現在の新館と同様に地震の横揺れを緩和する免震構造を採用。また、一部の居室に災害発生時の治療スペースとして使用可能な設備を設けたり、3日間(72時間)診察可能な非常用電源の確保や災害備蓄倉庫の整備を図ることにより、災害発生時でも県立病院として果たすべき役割を確実に実施できる体制を確保する。

# 成人病センター機能再構築(センター改築工事)に係る配置図、スケジュール

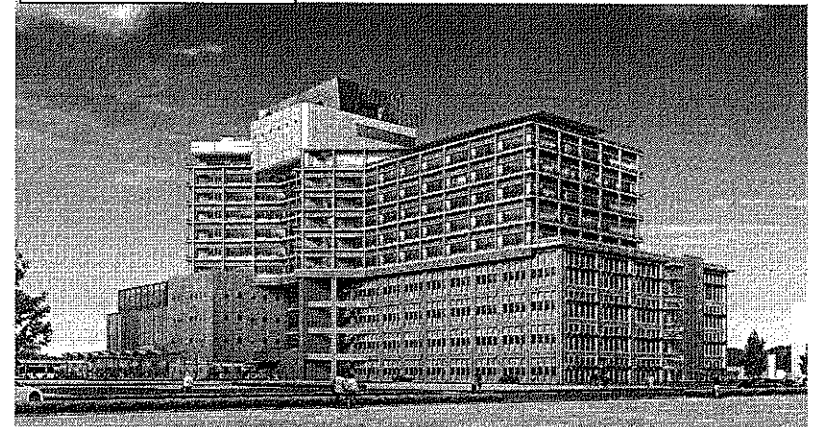
## 配置図



北西上空からの外観



北西方面からの外観



## スケジュール

